



## 家庭教育支援の取組(その1)

# 親楽プログラムを活用した「松江市おしゃべり広場」を開催しました!

7月15日(土)に松江市国際交流会館で標記の会を開催しました。いつも実施している親楽は、学校やPTAなどの各種団体からの依頼で開催していますが、個人で参加できる親楽を昨年度初めて実施し、今回2回目の「松江市おしゃべり広場」として市教育委員会主催で行いました。

今回、アイスブレイク15分、「子育てでうれしかったこと」「子育てで悩んでいること」のワーク60分時間をかけてみなさんでお話をしました。今回の参加者の方のお子さんは、0～3歳の方が多く、子育てを始めた保護者の方が、子育てについて相談できる場が必要だと感じました。



吉川ファシリテーターの進行で、活発に意見交換できました。

### 《参加者の感想》

- ・初めての参加でしたが、同じ悩みを持つお母さん方と話せてよかったです。一緒に共有できて、息抜きもできてよかったです。
- ・初対面の参加者さんばかりでしたが、同じ「子育て」というテーマで共感でき、楽しい時間を過ごせました。ありがとうございました。



託児も実施しました。

## 家庭教育支援の取組(その2)

# 令和5年度 松江市・安来市合同 親楽ファシリテーター養成講座を開催しました!

6月25日(日)に安来市荒島交流センターで松江市・安来市合同の親楽ファシリテーター養成講座を開催しました。親楽ファシリテーターは、親楽プログラムを実施する上で重要な進行役であり、参加者相互のコミュニケーションを円滑する役割があります。今回、松江4名、安来3名の参加者の方に「親楽プログラムとは?」「親楽ファシリテーターの役割は?」について学んでいただきました。みなさん積極的(どンドン)に、お互いに協力(うんうん)して講座に取り組んでいただきました。松江市では、もう1回親楽ファシリテーター養成講座を10月に計画しています。興味のある方、是非ご参加ください。



午後は実際に演習をし、親楽ファシリテーターを体験しました。



新しい親楽ファシリテーター7名です。

# 学校・家庭・地域が連携する 取組(その1) ほっとハート東出雲学園

## 15歳までに身に付けさせたい「社会参画力」とは? × 学園教育推進会議

6月28日(水)に東出雲中学校で「学園教育推進会議」が開催されました。今回は、ほっとハート東出雲学園の年間の取組について説明・協議するだけでなく、今年度の重点項目についてのワークショップも行われました。

学校から4つの部会(学びの一貫・自立の一貫・交流の一貫・情報の一貫)の取組や地域学校コーディネーターから地域学校協働活動の取組について紹介があった後、「15歳までに身に付けさせたい『社会参画力』とは?」をテーマにグループ協議が行われました。学園のめざす子ども像のキーワードである「社会参画力」については、「地域の行事への参加」「コミュニケーションをとって働く」「良いこと・悪いことの分別」「粘り強く取り組む力」「柔軟に考える力」などの考えが出されました。

また、「どうすればそれらが身に付くのか?」についても熟議がなされ、「大人との関り」「地域活動への参加」「自己開示の場」「本物に触れる体験」「子どもたちに任せる」などの意見がありました。地域ぐるみで子どもたちを育てようとする意見がたくさんありました。今後も熟議を重ね、具体的な取り組みにつながることを期待しています。



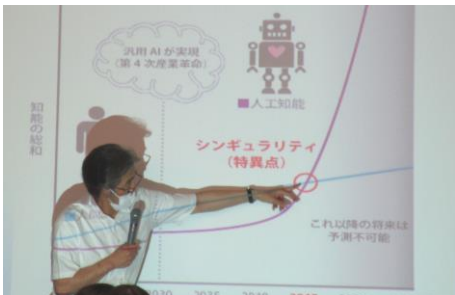
カードワークで「社会参画力」を考える



各グループで考えたことを全体で共有

# 学校・家庭・地域が連携する 取組(その2) 学校運営協議会関係者

## なぜ「コミュニティ・スクール」なのか? × CS(コミュニティ・スクール)マイスター



文部科学省 CS マイスターの小西哲也さん

7月14日(金)学校運営協議会委員や学校管理職を対象に「学校運営協議会(コミュニティスクール)研修会」を開催しました。文部科学省 CS マイスターの小西哲也さんを講師に「これからの時代の学校～コミュニティ・スクールの可能性～」と題しての講演や学校ごとの協議を行いました。参加者からは、「CSの必要性は理解できた。」「人は人を浴びて人になる。地域の大人がモデルとなるよう一緒に活動する機会を作りたい。」「いろいろアイデアがわいてきた。自分の関わり方を再考したい。」「グループ協議で今後の活動のイメージがある程度できた。」などの声が聞かれました。



学校・学園ごとにグループ協議

松江市では、令和4年度に全市立学校に学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクールとなりました。コミュニティ・スクールは、教育委員会より任命された委員が、一定の権限と責任をもって、教育の当事者として学校運営に関わる制度です。制度としては整備されましたが、これからは「魂」を入れていく段階となります。この研修会が、その一助となれば幸いです。

お問い合わせ先

生涯学習課 (山田祐司)

TEL 55-5288

FAX 55-5543

E-mail:[s-kikaku@city.matsue.lg.jp](mailto:s-kikaku@city.matsue.lg.jp)



学校教育課

学び推進係 (林 和博)

TEL 55-5341

FAX 55-5251



E-mail:[manabi@city.matsue.lg.jp](mailto:manabi@city.matsue.lg.jp)

お気軽にご連絡ください!

バックナンバー  
はこちらから